



『ピースプロジェクト』活動報告書

NPO 法人『ピースプロジェクト』
代表理事 加藤勉

この報告書は 2011 年の東日本大震災以降、『ピースプロジェクト』としての活動を記しています。

活動開始は 2011 年 3 月 13 日認定 NPO 法人『難民を助ける会』の一員として物資配布、障害者施設の安否確認作業からスタートしました。

『ピースプロジェクト』としての活動は 3 月 31 日から、スタッフ、道具がないなかでの活動で最初は外部団体の援助を受けながらの活動開始でした。

NPO 法人となったのは 2011 年 10 月です。それ以前は任意団体としての活動となります。

それらの具体的な活動内容が次頁から記載されています。

本活動報告書は 2013 年 1 月から 2013 年 12 月 31 日までの活動記録です。

皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いします。

【『ピースプロジェクト』活動報告書】

2013 年 1 月 11 日（金）

福島県飯舘村役場、教育委員会訪問

飯舘中学校、3 小学校合同校訪問

今回の訪問は 2 月に開催される飯舘村の『いいたてふれあい集会 2013』への参加協力打ち合わせと各学校でのプラネタリウム等の実施について打ち合わせでした。



飯舘村のイベントでは「だんだん参加してくれる団体がいなくなってきたので大助かり」と喜ばれました。基本的に子どもたちを遊ばせるスペースをお任せいただくことになりました。

飯舘村の学校について、基本的に全村避難なので学校そのものが飯野町等に“疎開”しています。しかもこの疎開いつ終わるかわからないのが実情です。

小学校も中学校も地元から通えるものではなくなっています。

何台かのバスによる通学です。片道 1 時間半かかる子どももいるそうです。

各打ち合わせの後、元々の飯舘村役場、飯舘中学校を訪問してみました。



飯舘村に入る直前から道路にも周囲にも人影がなくなります。

民主党の政治家が不用意に“ゴーストタウン”と表現していましたが、ゴーストタウンであることはまちがいありません。

飯舘中学校の高低には線量計がありました。最高値は 2.5 マイクロシーベルトでした。

東京が 0.05 ですから 50 倍の線量ということになります。

2013 年 1 月 12 日（土）

宮城県牡鹿半島、牧浜の豊島富美志さん訪問

豊島さんは牡鹿半島の東浜地区災害対策本部長をされていて、震災直後から東浜小学校避難所の責任者として志たかく震災に立ち向かってこられました。

今回、その忘備録というか回顧録を本にしたいという想いを伝えていただき、お手伝いをさせていただくことになりました。

原稿もいただき、編集作業も終盤で最後の打ち合わせを行うためにおじゃましました。

「俺たちは乞食じゃないから必要以外のものは受け取らない」

「支援に慣れてしまえば、後から来る自立が遅くなるだけ」

という強い信念をもって避難されていました。

また2012年の3月には『復興祭』と銘打って、東浜小学校に支援してくれた NGO、NPO を招いてのお礼イベントまで開催していただきました。

震災当時、私たちは多数の避難場所を訪問してきましたが、これほど印象深い指導者に巡り合うことはありませんでした。



写真は震災時に使用されていた『災害対策本部』今は東浜小学校入口脇に保存されています。

2013 年 2 月 24 日（日）

福島県飯舘村『いいたてふれあい集会 2 0 1 3』参加。

（受益者数：1,000 人）

福島市飯坂温泉『パルセいいざか』で開催された『いいたてふれあい集会 2 0 1 3』に参加しました。全村避難対象地区となっている飯舘村は村民が福島全域、他府県に避難している現状で、村民同士の交流が途絶えています。村役場主催でこういう集会を開催し、村民同士の交流を図ろうというのが主な目的です。

あいにくこの日は激しい雪が降ったにもかかわらず、1 0 0 0 人近くの人に集まっていただきました。

『ピースプロジェクト』からは『ベンチャーランド』というフワフワ遊具、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム、そして岩手の細川ジムからキックボクシングの選手が参加して子どもたちにトレーニング（？）を手ほどきしてくれました。

子どもたちは久しぶりに会う友達と楽しそうに目を輝かせながら遊具やキックボクシングの体験をしていました。ビンゴゲームではリラックマを始めとする景品に大きな期待と声援が飛び交いました。コールマン社から LED ヘッドライトを協賛していただきました。



2013年3月7日（木）

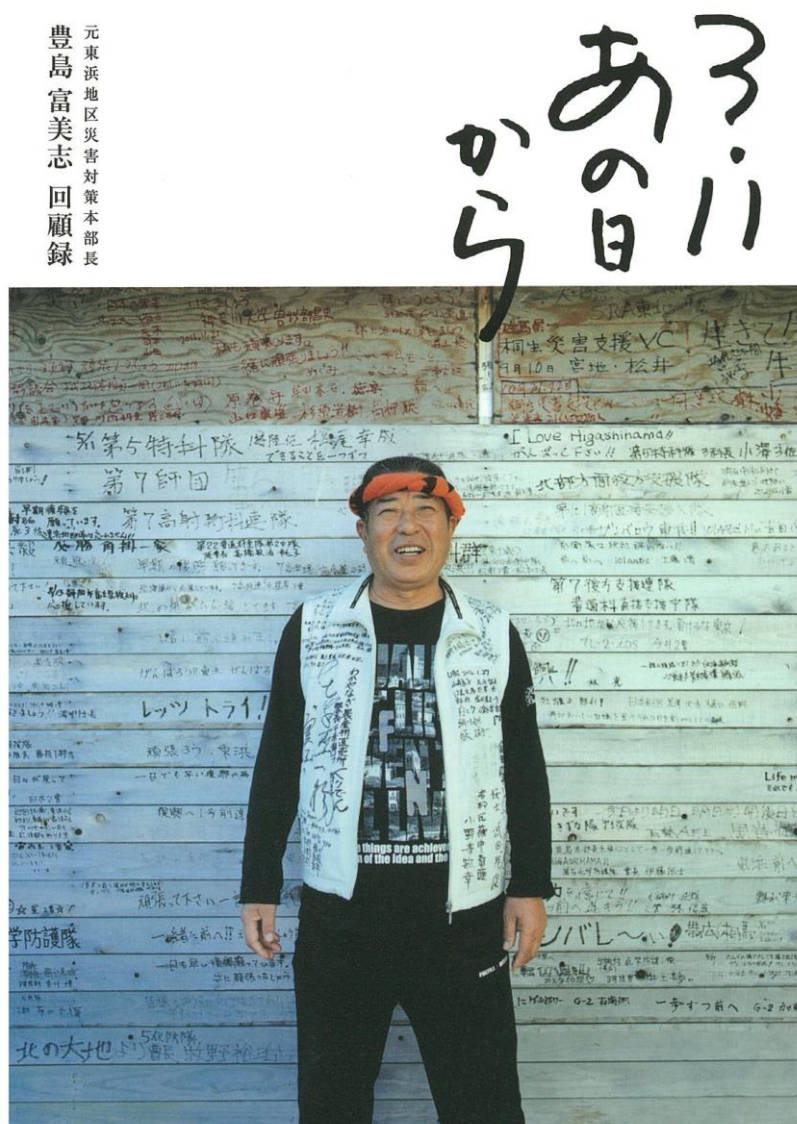
宮城県牡鹿半島東浜災害対策本部長、豊島富美志さんの回顧録『3. 11 あの日から』の出版記念パーティ

東日本大震災直後から避難所の“鬼軍曹”として活躍されてきた豊島東浜災害対策本部長の回顧録がいよいよ刊行されることになりました。

刊行にあたっては『ピースプロジェクト』と認定NPO法人『難民を助ける会』がお手伝いさせていただきました。

この日、加藤タキ様、柳瀬会長をはじめ多数の関係者がかけつけ豊島さんのご苦労をねぎらうとともに出版のお祝いを述べておられました。

この回顧録の編集にあたっては『ピースプロジェクト』の小林通孝さんが編集作業にかかわられました。



2013 年 3 月 9 日（土）

福島県新地町新地小学校でプラネタリウムの上映、ビンゴゲーム、スーパーボールすくい他を実施しました。

（受益者：200 人）

福島県の沿岸部で津波の被害が大きかった新地町でプラネタリウムの上映やビンゴゲームを行いました。

今回も横浜モバイルプラネタリウムの遠山さんの御協力で実現することが出来ました。

朝から強風が吹き荒れる中でしたが、予想以上に毎回ほぼ満員の盛況でした。

プラネタリウム上映の合間には恒例となったビンゴゲームをやったり、竹とんぼやストラックアウトで遊んだり、スーパーボールすくいを楽しんだりしました。



2013 年 3 月 30 日（土）、31 日（日）

東京都江東区有明で開催された『TOKYO OUTOSIDE FESTIVAL』に参加しました。

両日とも雨模様で寒い天候だったにもかかわらず多数の参加者が来場されました。

『ピースプロジェクト』としてはパネルでの活動紹介、T シャツ等の販売を行い『ピースプロジェクト』の啓蒙活動を行いました。

（受益者：0 人）



2013 年 4 月 27 日（土）、28 日（日）、29 日（月）

被災地の子どもを夏休み、イタリアで過ごすサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ』の参加者セクション

在イタリアの日本人が作り上げたプログラムである『オルト・ディ・ソーニ』に参加する子どもたちから 32 名の応募がありました。この中から参加してもらいたい子どもたちを選ぶための作文、面接を行いました。

選ばれた 12 名の子どもたちには 7 月下旬～8 月下旬の 4 週間をイタリア、サルディーニャ島で過ごしてもらいます。



2013 年 5 月 5 日（日）

岩手県陸前高田市の箱根山で『こどもまつり 2013』に参加しました。

（受益者：2000 人）

『ピースプロジェクト』からは『ベンチャーランド』というフワフワ遊具、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム、そして盛岡の細川ジムからキックボクシングの選手が子どもたちにパンチやキックを教えてくださいました。

当日は天候にも恵まれ、予想を上回る入場者が会場を埋め尽くしてくれました。



2013 年 7 月 20 日（土）

福島県相馬市大野台第 6 仮設住宅で恒例『土用のうなぎ炊き出し』を実施しました。

『ピースプロジェクト』では毎年土用の丑の日にうなぎ炊き出しを実施してきました。今年は相馬市大野台での実施となりました。うなぎシラスの減少でうなぎの価格が高騰して仕入れが大変ですが、出来る限り今後も継続したいと思います。

（受益者：350 人）

大野台第 6 仮設住宅は飯館村出身者のための仮設住宅となっています。この仮設には子どもが少なく、高齢者が多い環境となっています。仕事がなくヒマを持て余している男性の中にはアルコール依存症にかかっている方も数名おられて、被災者の厳しい状況を垣間見ることができました。



2013 年 7 月 26 日～8 月 23 日

福島県の子どもたちがイタリア過ごすサマーキャンプ『オルト・ディ・ソーニ』の実施。
4 月のセレクションを経て参加が決定した子どもたち 12 名と昨年のプログラム参加者 2 名（ちびっこボランティア）をイタリア、サルディーニャ島の施設に 4 週間滞在するプログラムを実施しました。

このプログラムは在イタリアの日本人 NPO 『オルト・ディ・ソーニ』と協力して行ったものです。今回は『ピースプロジェクト』から小林通孝、加藤勉が前後半にわかれて参加し、子どもたちの面倒をみてきました。

主催：オルト・ディ・ソーニ（在ミラノ非営利団体）

（受益者：14 人）

7 月 26 日の出発時は不安そうな表情だった子どもたちも飛行機の中から初めての体験に大興奮で引率役の小林氏を一睡もさせないほど質問攻め、到着してからも時差ボケもなんのその、夜中まで騒いで引率役のボランティアが眠れない夜を過ごすほどでした。

このプログラムでは尿検査をキャンプ開始前と開始後に行い、被ばく量の改善状況を確認しましたが、ほぼ全員被ばく量が大幅に改善することが出来ました。

福島県沿岸部（放射能被ばく地域）の子どもたちにこういったプログラムを提供することは確実に好影響をもたらすことが出来ると確信しました。



キャンプでは乗馬体験や他のキャンプ場へのミニツアー（1 泊）も経験しました



ダンスの先生を招いてみんなでダンスも練習しました



サッカーの本場で本格的なサッカーも経験しました



キャンプ中 10 回以上海水浴に行きました写真は『泥の海』と呼ばれるビーチでの海水浴



キャンプ終了前にはお世話になった方々を招いてパーティを行い、これまでの感謝の気持ちを伝えました

8 月 23 日に無事に真っ黒に日焼けした顔で帰国したとき、出迎えのご両親はたくましく育った子どもたちをととても嬉しそうにみつめておられました。

2013 年 8 月 3 日 (土)

福島県相馬市中村小学校でアディダスの協力を得て『バドミントン教室』を開催しました。当日はロンドン北京オリンピックで活躍した池田信太郎選手も参加していただきました。バドミントンで世界を目指す130人の子どもたちに熱心に指導していただき、子どもたちも熱いまなざしで真剣に教わっていました。

協力：アディダス

(受益者：130 人)



2013年8月10日（土）

福島県相馬市主催の『花火大会』に協力しました。

今年も相馬市からの依頼を受けて『ミニメリーゴーラウンド』を滋賀県から取り寄せました。昨年同様子どもたちは行列するほど並び、何回も楽しそうにメリーゴーラウンドに乗っていました。また大谷晋二郎率いるプロレス『ゼロワン』の特別興行を行いました。子どもたちの熱い声援を受け、子どもたちのパワーを源に闘う姿は被災地の皆さんに大きな勇気と元気を与えてくれました。同時“髪結い”“スーパーボールすくい”UFOキャッチャー（協力：マルキ）も実施しました。（受益者：2000人）



2013 年 10 月 5 日 (土)

福島県相馬市程田の『復興住宅』において『ふれあい芋煮大会』を開催しました。

この復興住宅は 2013 年に完成したばかり、入居書は相馬の各地から抽選で選ばれた方が多く、地元住民とのコミュニケーションがなかなか取りにくい状況ということで、今回は単なる“炊き出し”ではなく地元の方々と一緒になって準備作業から行うようにしました。

朝早くから地元の方々多数お手伝いに参加していただき、語らいながら準備作業を開始しました。東京から初めてボランティアに参加したメンバーの中には涙をこぼしながら話を聞いている人もいました。

メニュー：芋煮、白玉あずき、玉こんにゃく（協力：マル辛）

(受益者：200 人)



2013年10月26日（土）、27日（日）

福島県飯坂温泉の『パルセいいさか』において飯館村主催『いいたてむら文化祭』に参加協力しました。

ご存じのように飯館村は全村避難地域で、住民同士が顔を合わせる機会がありません。飯館村役場では春の『ふれあい集会』とあわせて年2回住民同士が顔をあわせてふれあえる機会を設けています。

今回『ピースプロジェクト』では“キッズコーナー”に“リラックマ”を登場させ、会場のちびっこから大人まで楽しませてきました。

（受益者：1500人）



2013 年 12 月 28 日 (土)

福島県相馬市程田の復興住宅で『餅つき大会』を開催しました。

前回、芋煮会の際に「今度は年越し餅つきやって欲しい」というリクエストに応えたものです。

今回も前回同様地元の方々の協力を得て、準備から後片付けまで一緒にふれあい、語らいながら行いました。復興に向けて私たちが出来る支援活動のひとつの形が見えてきたような気がします。

また、餅つき大会には夏のイタリアサマーキャンプに参加してくれた子どもたちが多数遊びに来てくれました。

(受益者：200 人)



2013 年の活動合計、出動 16 回、受益者総数 7,604 人

2013 年 12 月 31 日時点での累計出動数 78 回、累計受益者数 37,326 人